

平成27年度 第2回鳥取市景観形成審議会 議事録

- 1 日 時 平成28年3月24日(木) 13:30～15:00
- 2 場 所 鳥取市役所本庁舎4階 第4会議室
- 3 出席者

(1) 委員

芦澤喜武委員(会長)、中橋文夫委員(副会長)、西村強委員、来田裕子委員、松島勇委員、山本美穂委員、村山洋一委員、谷口貴洋委員

(2) 事務局

鳥取市都市整備部 藤井光洋部長
都市環境課 谷口浩章課長、田中和人景観緑化係長、
廣谷一茂技師、淺井崇典主事
道路課 西垣真志主幹
庁舎整備局 尾坂和昭局長補佐
文化財課 佐々木孝文課長補佐
観光戦略課 植田光一課長補佐

4 報告事項

- (1) 市道山の手通り(お堀端通り)道路整備について
- (2) 鳥取市新本庁舎建設の現状報告について

5 議事概要

- (1) 市道山の手通り(お堀端通り)道路整備について

〈事務局〉

※資料1、図面-1～3、イメージパースを用いて説明

(芦澤会長)

これまでの協議で出た意見を可能な限り反映しているようです。今回が最終の設計という事ですが、感想や意見があれば、お願いします。

(来田委員)

武道館横の鳥取西高校へ向かう通路を、図面1に載せた方がいいと思います。また、この通路の入口に鳥取西高校の校門が整備されると聞いています。この付近も、山の手通りと一体的に考え、景観に配慮していただくよう県と協議した方がいいと思います。

〈事務局〉

わかりました。

(芦澤会長)

黄色の点字ブロックを設置するという事ですが、他の色にはできないのですか？

〈事務局〉

鳥取県視覚障害者福祉協会と協議させていただいた結果、弱視者の方は色も目印にして通行されており、周りの擬石平板ブロックと同系色にした場合、見えにくくなるとの事でした。よって、協会側が要望されている黄色のものですので計画しています。

(芦澤会長)

わかりました。他に意見はありませんか？

(中橋副会長)

現場にある桜はソメイヨシノだと思いますが、元気なものもあれば、成長が悪いものや幹が割れているものもあります。どれを残し、どれを伐採するか、そういった整理が必要だと思います。また、ソメイヨシノはクローン植物であり、植え替えをする場合は、他の場所から調達する事になりますが、今ある樹を母樹にして、接ぎ木をし、その苗木を、この公園内で皆さんで育てると、今から接ぎ木をすれば、5年後には立派なものになります。この場所の植生から言えば、ソメイヨシノは合わないのですが、ここ（お堀端）はあくまでパークの空間であり、ソメイヨシノでもいいんです。そして、城跡の中側については、本来そこのある植生を調査して、植栽計画を立てる。そういう考え方を持って、桜の保全活用論で、接ぎ木をし、次の子どもを育てていく。そういう息の長い計画を作り、地域の子どもや皆さんに樹の水やりをしてもらう。そうする事で、樹木に愛着心が出てくる。これが造園なんです。そういう事をやられたらどうでしょうか。

また、ソメイヨシノの植栽基盤、地面の中を調査してみてもどうでしょうか？調査をして、施肥や物理性の改良をする事で、樹が生き返る場合もあります。

それともう一つ、イメージパース④を見てください。お堀端の柵を本木にさせていただきまして、ありがとうございます。石の貼り方も、方形張りで両サイドのエッジのおさえ方が入れ子構造になっており、非常にいいと思います。ただ、イメージパース③の左端が一直線で、非常に土木的なデザインです。桜側にある、芝生と石の取り合いのような入れ子構造の造園的デザインをする事によって、敷石舗装のデザインが活きてきます。細部をもう少し修正していただければと思います。

〈事務局〉

はい、わかります。ただ、この左側部分は道路と私有地との境界のため、(境界に沿って設置する事とし)真っ直ぐに計画しています。

(中橋副会長)

敷地境界の意味を兼ねているという事ですか？

〈事務局〉

はい、そうです。

(中橋副会長)

そこを何とか協議をし、造園的デザインにしてほしいです。

(芦澤会長)

説明に使う資料は、機械的なものではなく、手で描いたようなイメージがいい。もし可能であれば、直してもいいと思います。

〈事務局〉

検討します。

(芦澤会長)

それから、公園内や二ノ丸の桜がほとんどソメイヨシノになっていますが、これ

はソメイヨシノの歴史が関係しています。ソメイヨシノは、日露戦争当時から、万代の桜と言って、全国で次々に植えられました。ソメイヨシノは全部接ぎ木で増やしたものだから、全て同じ体質であるため、全国の開花宣言ではソメイヨシノが採用されています。ヒガンザクラ等、ソメイヨシノより樹齢が長い種類はいろいろ種類はありますが、桜と言えばソメイヨシノというのが広く定着しているし、鳥取城跡周辺は全国さくら百選として桜見の拠点になっているので、補植するのはソメイヨシノでいいと思います。なお、ソメイヨシノは江戸時代に作られたのですが、当時お堀端にあったのは、多分オオシマザクラか何か、他の桜だと思います。

〈事務局〉

江戸時代の絵に描かれている桜は、おそらくエドヒガンの一種であると思われます。ヤマザクラは葉が出るのとほぼ同時期に花が咲くのですが、描かれている桜は花が先に開いているので、ソメイヨシノに先行して園芸品種的に使われてきた野生種のエドヒガンであると考えられます。おそらくエドヒガンが植えられていて、それが枯れ、日露戦争前後に、ソメイヨシノが植えられたと思います。最近、文化財の関係で、ソメイヨシノ以外の樹種が検討されています。例えばジンダイアケボノという、ソメイヨシノより小型で耐久性の高い、新しい品種の桜があり、そういったもの視野に入れながら検討したいと思います。

(芦澤会長)

はい。ソメイヨシノばかりでなくてもいいから、協議して考えていただきたいと思います。

(山本委員)

ビューポイントに、説明や見所を解説した看板等を立てる予定ですか？

〈事務局〉

現段階では特に考えておりません。

(山本委員)

せっかくお堀端に来て、県立博物館を見ずに帰ってしまう方もいらっしゃると思います。歴史的背景の説明書きがあれば、県博への誘導にもつながるし、土地の歴史を知っていただけたらと思います。

〈事務局〉

看板類につきまして、まだ詳細は決まっていますが、既存のものを集約したり、景観に配慮した形状にする等の検討を行う予定です。本日いただいたご意見についても、検討したいと思います。

(芦澤会長)

プロが撮影した写真を看板に載せ、こういう写真が撮れると表示する方法もあります。ただ、あちこち看板を立てるのは景観的によくないので、パンフレットを作り、地図に写真と撮影ポイントを入れる程度にした方がいいと思います。道路から見た景色だけでなく、城跡の中からも、いい景色が見られる所があります。整備後でもいいので、そういった場所を探して、パンフレットを作ったらいいと思います。地域で生活している人たちに楽しんでいただく事が第一です。ビューポイントの運

用等の検討は、これからでは遅いぐらいであり、ハードとソフトの整備は同時に始めないといけません。

竹田城に行った事がありますか？私が5年前に行った時、駐車場が少ない状況でした。しかし、山城サミットの開催を契機に大きく変わっており、去年行って驚きました。相当な費用をかけ、ハードとソフトが一体的に整備されていました。雲海の天空の城は、竹田城のほか、備中の松山城と越前の大野城があり、この3つが連携して、パンフレットもつくり、全国的にもすごくアピールをしています。備中の松山城はもとから天守閣が残っており、越前の大野城は昭和になってから造られたもので、竹田城は石垣だけで天守閣がありません。しかし今や、各旅行会社がツアーを組んでおり、竹田城にもたくさんの方が来ています。これらのやり方も参考に、ソフト面を大いにやってほしいです。鳥取城の石垣と歴史は、3つの城に負けたいと思います。ハード面ばかりでなく、ソフト面もすぐに始めていただきたいです。

(中橋副会長)

皆さん、京都の嵯峨野・嵐山へ一度行ってみてください。小倉百人一首の歌碑が100基ならんでいます。これは私が設計しました。京都商工会議所130周年事業で何かできないかという相談があり、小倉山で藤原定家が小倉百人一首を編成した事にちなんで、100の歌碑を建てました。要するにサインです、マクロ的な空間のサインを、どうやってお客さんに伝えるか、単なる看板では、ちょっと時代遅れです。全体サイン、誘導サイン、部分サイン、そういう系統的に設計するのがサインの設計法です。だから、鳥取城跡周辺でやっているプロジェクト、橋や道路の整備等、全体をリンクした、総合的なサイン計画をまず立てるべきでしょう。空間の、歴史的背景の説明をするのか、デザインの考え方をするのか、名所説明をするのか、こういった事をすべて、はじめに設計します。まずハードを整備し、サインは後で整備したらいいというのが今の設計ですが、それでは駄目です。トータル的にマネジメントをする。そして、情報を伝えるだけがサインではないのです。私が設計した百人一首の歌碑には、一個一個にバーコードが掲載されていて、それをスマートフォンで読み込めば、百人一首が音声で流れ、いい雰囲気が出ます。そういうサインを考えてみてください。これだけの整備をするのだから、全体を捉えて、そのぐらいの考え方を持ったらいいと思います。京都のプロジェクトでは、経費は全て、企業等の寄付で賄いました。歌碑一基300万円、100個で3億円集めました。それは京都に対する企業の愛着、一つの精神です。鳥取城跡の整備についても、鳥取の企業等いろいろな所から寄付を集めてはどうでしょうか。

(芦澤会長)

はい、わかりました。いずれにしても、鳥取城跡周辺というのは、池田の殿様が街の中心としていた所であるから、是非とも大切にして、ソフト面とハード面の連携を取りながら、全国に売り出して行ってほしいと思います。

それで、いつ着工し、いつ完成するのですか？

(事務局)

工事着手は、平成 29 年度の予定です。完成は、当初 30 年度を目標にしていますが、現段階では 31 年度に延期しています。

(芦澤会長)

はい、わかりました。これで進めていただくという事で、よろしいですか？

(一同)

はい。

(芦澤会長)

それでは、引き続きまして、新本庁舎建設の現状報告をお願いします。

(2) 鳥取市新本庁舎建設の現状報告について

〈事務局〉

※資料 2 を用いて説明

(芦澤会長)

はい、どうもありがとうございました。何か感想等はありませんか？

(村山委員)

配布資料にある説明は、設計業者が書いたものですか？

〈事務局〉

設計事務所のプロポーザルの提案内容です。具体的な図面の内容は今後検討していきます。

(芦澤会長)

業者の選定方法がプロポーザルという事は、6 社の中でベターだったという事ですね。プロポーザルが全てを決める、ベストではなく、あくまでベターを選んだという事になります。資料では、一番優秀で、優れた提案であるように書かれていますが、これからは、もっと柔軟に市民の声を聞き、取り入れてほしいと思います。ベストを求めてやってほしいです。

〈事務局〉

はい。

(芦澤会長)

市の提案 A、B、C は、景観上の項目が全くありません。鳥取砂丘の風紋や宿場町、しゃんしゃん祭等、いろいろなファクター（要素）を機械的にはめ込んだ、マッチ箱のようなデザインが提案されていますが、そうではなく、優れた芸術的なデザインがほしかったと思います。人の心を許す、感動させるような芸術曲線とか、そういうものを表現してほしかったです。芸術家のデザインは、その時代には受け入れられない事もありますが、非常に人の心を打つ面があります。そういうものを意識したデザインがほしかったと感じていますし、可能であれば、今からでも取り入れてほしいと思います。

また、私は“にわ”の概念と“公園”、いわゆるパブリックスペースの概念は異なるものとして捉えているのですが、資料にある“にわ”の説明内容は、いわゆるパブリックスペースの一つの考え方であり、“にわ”の概念と少し離れている感じがして、

よくないと思います。ヨーロッパでは庁舎前の広場で市場が開かれる等、にぎやかであり、そういう事も非常に大切だし、いい事だと思います。ですが、やはり景観的には美しくて落ち着きがあり、風格があるという側面がほしい所です。そういった点を今後デザインにおいても発揮してほしいと思います。

(来田委員)

私も会長さんの意見に同感です。費用の事もあって、曲線のデザイン等は難しいのかもしれませんが、鳥取らしいデザイン、何かこう、わーすごいなと思われるような、わくわくするようなデザインが、もう少し見られるといいと思います。

また、屋上の一番いい所に議場があります。開放するとは書いてありますが、市民の飲食スペースや展望ロビーにする等、自由に上がって鳥取の街を眺望できるスペースとして提供していただきたいと思います。

(芦澤会長)

そのとおりだと思います。風紋広場にあるトイレのように、曲線を取り入れた、そういう芸術曲線。何かそういう、人がすごいなと思うようなものをつくってほしいです。

(中橋副会長)

資料をみる限り、ランドスケープデザインや造園の分野について、あまり書いてありません。是非、ランドスケープアーキテクトを起用してください。外部空間の比率が高いので、建築家とランドスケープアーキテクトがコラボレーションしないと、いいものできません。

また、鳥取の風土からどういう空間デザインが出てくるかという事を考えたら面白いと思います。鳥取の庭園芸術は素晴らしいものがあります。県庁には重森三玲さんの庭園が残っていますし、樗谿公園は長岡安平という明治時代の造園家による由緒ある庭園であり、非常に高い庭園技術で設計されています。歴史を検証して、そこから出てくる風土のデザインを考える、アンジュレーション（波のうねり、地表の起伏）等、鳥取の味が出てくるデザインがあります。1970年の大阪万博で、本格的な日本庭園が造られました。荒木芳邦先生と京都の井上卓之、枚方の西川先生がグループをつくってデザインされましたが、その時、鳥取の佐治石が使われました。そういう風に、鳥取にはいい材料があるんです。そういう単語や重森空間論を設計に入れてもいいと思います。

(芦澤会長)

重森三玲さんの作品は、島根県庁、鳥取県庁、鹿児島県庁にありますが、鳥取県庁は太陽光パネルや電光掲示板を建て、一部壊してしまいました。誠に残念な事ですが、（景観についての意識はまだまだ）そういうレベルだという事です。皆が一緒になつてつくれば、このような事にはならないのかもしれませんが。

(中橋副会長)

重森さんがすごいのは、石を立てる所です。普通は伏せ石といって、石は伏せておくのですが、重森さんは、立石といって、天に向かうように、突き刺すように石を立てる技術を持っています。

(芦澤会長)

あえてそれを取り入れた、青石で立てやすい、四国の伊予石を使った作品が多いです。まあ専門的な話はいいにして、他に何かありませんか？

(山本委員)

資料では、市民の拠点となる鳥取らしい庁舎、そして、“ナカのにわ”は、観光客まで日常的な活動が広がる広場にすると書かれています。鳥取駅が近くにあるので観光客を呼び込みたいという思いがあるようですが、そうであれば、鳥取らしい建物でないと駄目だと思います。市庁舎自体が観光地になる事はないと思いますが、資料にある鳥取らしさは、おそらく鳥取市民が思う鳥取らしさを羅列しているように思います。観光客を呼び込みたいのであれば、例えば、平成26年度に観光客を対象に行った調査では、中国5県と近畿地方の人が多く訪れており、この地域の方を対象に、鳥取らしさについてアンケート等を行い、観光客目線の何かを取り入れてはどうかと思いました。

(中橋副会長)

鳥取らしさというと、梨やゲゲゲの鬼太郎、コナン等がよく出てきますし、配布資料では、しゃんしゃんや砂丘等、いろいろ出てきます。また、ランドスケープの分野では、ポール・スミザーさんのナチュラルガーデンで、郷土種の植物を使用して一つの文化をつくりましたが、あれは中々理解するのが難しいです。そうではない、何か鳥取の風土から、アート、芸術に進化して、それが鳥取らしさになるような、新しい鳥取らしい風土文化を考えていく、というのが今おっしゃった事ではないかと感じました。

もう一つ、広域防災拠点とありますが、鳥取大学が先陣を切って研究している緑陰駐車を、是非この空間につくってほしいと思います。広域防災拠点として、生活避難地や緊急避難地にするために、防火植栽や備蓄施設、交通の受け入れ体制をどうするか、都市緑化技術開発機構が出している防災公園ハンドブックという本がありますので、是非参考にしてください。広域防災の機能の設計というのは、普段はわからないようにするものです。普段は愛と平和と集いの空間、芸術性の空間にしておき、それを裏返したら、防災の機能も有しているというような空間にしていく。これは市役所の役目だと思います。防災拠点として、空間の使い方をしっかりと考える。芸術性の空間、今言ったような文化や風土といった芸術性の空間については、ワークショップで市民の意見を取り入れ、そのファシリテーターはランドスケープアーキテクトと建築家のコラボレーションでやるという体制が必要です。

(芦澤会長)

いろんな意見が出てきますが、どうですか？

〈事務局〉

防災拠点としての機能を想定しながら設計を進めます。

(芦澤会長)

外から見てもいい建物になったと、皆が思うようなものにしてほしい。横浜あたりのビル街を船から見ると、ビルのスカイラインがみんな変化して、夜はネオンサイン

を付けています。そこまでの必要はありませんが、真四角なデザインは面白くないです。

(中橋副会長)

鳥取を売り出す、ものすごいネタになると思います。昔、丹下健三さんが手がけた、高松市役所のR Cのデザインが一世を風靡しました。鳥取は、菊竹さんの作品もあるし、過去にいい建築家、いい造園家が活躍しています。その歴史を踏襲してほしいです。世界に発信する作品にしないと、格好が付きません。

(芦澤会長)

例えば、熊本に、前が広い緑地帯になっていて、玄関まで林の道を通って行くような庁舎があります。真四角の箱を置いたようなものでは面白くないので、いろいろと考えてほしいです。

(中橋副会長)

夜になれば、ぼんぼりのように浮かぶでしょうね。このデザインから、夜にパッと浮かぶ、光の空間とかそういった事が読み取れますが、そこを狙っているのですか？

〈事務局〉

そこまでは提案にないです。

(芦澤会長)

現在は、プロポーザルして業者を選んでいますが、もっとデザイン等に投資すれば、立派なものができると思います。建築工事に費用をかけるのだから、デザイン計画にも力を入れてほしいです。

(中橋副会長)

建物と外部空間を一体的に考えなければいけません、短絡的に壁面緑化しないようにしてください。

(芦澤会長)

皆が素晴らしいと思うような庁舎を建ててほしいと思います。そろそろ時間ですので、他に意見が無ければ終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか？

それではこれで終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

(一同)

ありがとうございました。